

『insight-R4』 導入事例（一覽）

企業	業種	対象階層	導入背景	導入の決め手	受講生の代表的な声	担当者の声
A 社	運輸・不動産	部室長クラス	マネジメント層を対象とした3年計画のビジョン浸透のためのマネジメント教育の一環として導入	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の裏側に隠れている意図や目的の意味の解釈の多様性が出やすいため ・自由な発想で議論しやすいため ・理解レベルに差が出ずに議論に時間をかけることができるため 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の捉え方の違いが出やすく考えさせられた ・議論に集中しやすかったので楽しめた 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生が熱心に研修に投入していた ・会社の方針に合わせた問いのため受講生へのメッセージ性を高めることができた
B 大学	学校法人	部門単位で一般職～課長クラスまで	強い上下関係により意見具申ができず風通しが悪いため、階層間で率直な意見交換ができるような風土作りの一助として導入	<ul style="list-style-type: none"> ・階層を混在させた研修を行うことが、できるツールだったため（階層混在の研修で実際の職場事例を用いると、上位職の意見で着地しがちになる） ・文章ケースは理解するまでに時間がかかるが、マンガ教材ではその時間の短縮が想定できたため 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンガの状況に入り込みやすかった ・立場による考え方の違いが理解しやすかった ・若手職員が自由な発想で発言する姿を見て評価し直すきっかけになった（上司） 	<ul style="list-style-type: none"> ・上下関係の強い風土にも関わらず、若手が上司に意見を言いやすい教材で、議論が白熱し気づきの多い研修となった
C 団体	金融・保険	課長補佐主幹クラス	部下育成の考え方や接し方の違いを棚卸しして部下育成の強化を図るために導入	<ul style="list-style-type: none"> ・研修慣れにより予定調和的な感じの研修になることが多いが、視覚化しているツールのため捉え方に差異が出やすいと想定できたため 	<ul style="list-style-type: none"> ・数年一緒の職場で働いていたが、些細なことから、組織の大きな視点や考え方に違いがあることに驚いた 	<ul style="list-style-type: none"> ・活発なグループ討議で受講生の研修投入度が高かった
D 社	製造（電機）	課長クラス	ビジョン構築力の強化とビジョンを実行するためのマネジメント力の強化を図るために導入	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な部署から参加している面識もあまりない受講生同士が短時間で活発な意見交換ができるツールだと想定できたため 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンガ教材が緩衝材の役割を果たし研修に参加しやすい雰囲気のため議論しやすかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修慣れしている受講生であってもツールが新鮮な感じと捉えていたようで参画意識が高かった
E 社	建設（設備）	本部長・部長クラス	中期経営計画を達成するためにリーダーシップや戦略立案能力の強化を図るために導入	<ul style="list-style-type: none"> ・文章ツールだと文章に書かれていることを自分の意見のようにして議論することが多いが、このツールでは認識したこと、感じたことを自分の言葉で話すことになり、思考力の深化が想定できたため 	<ul style="list-style-type: none"> ・立場の違いを踏まえて組織の方向性を議論するのはためになった 	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間で内容の濃い議論ができ参加者の限られた情報から想定力の違いを認識してもらうことができた